

ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要時にそなえて大切に保管してください。

第1類医薬品


日本薬局方 ロキソプロフェンナトリウム錠
解熱鎮痛薬

ピタリノールLX

頭痛・生理痛・歯痛に

ピタリノールLXは、有効成分がロキソプロフェンナトリウム水和物の解熱鎮痛薬です。胃への刺激が少なく、眠くなる成分(鎮静催眠成分)は含まれません。熱や痛みの元(プロスタグランジン)を抑え、解熱・鎮痛に速く効きます。1回1錠、小粒で服用しやすい錠剤です。

⚠ [使用上の注意]

してはいけないこと 

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください。

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。
- (4) 医療機関で次の治療を受けている人。

胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病

- (5) 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常(血液の病気)を指摘されている人。
- (6) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないでください。

4. 長期連続して服用しないでください。

(3～5日間服用しても痛み等の症状が繰り返される場合には、服用を中止し、医師の診療を受けてください。)

相談すること 

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師または薬剤師に相談してください。

- (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

気管支ぜんそく、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病

(7) 次の病気にかかったことがある人。

胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師または薬剤師に相談してください。

- (1) 本剤のような解熱鎮痛薬を服用後、過度の体温低下、虚脱(力がでない)、四肢冷却(手足が冷たい)等の症状があらわれた場合。
- (2) 服用後、消化性潰瘍、むくみがあらわれた場合。
また、まれに消化管出血(血を吐く、吐き気、嘔吐、腹痛、黒いタール状の便、血便等があらわれる)、消化管穿孔(消化管に穴があくこと。吐き気・嘔吐、激しい腹痛等があらわれる)、小腸・大腸の狭窄・閉塞(吐き気・嘔吐、腹痛、腹部膨満等があらわれる)の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。
- (3) 服用後、次の症状があらわれた場合。

| 関係部位 | 症状 |
|-------|--|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 腹痛、胃部不快感、食欲不振、吐き気・嘔吐、腹部膨満、胸やけ、口内炎、消化不良 |
| 循環器 | 血圧上昇、動悸 |
| 精神神経系 | 眠気、しびれ、めまい、頭痛 |
| その他 | 胸痛、倦怠感、顔面のほてり、発熱、貧血、血尿 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症状 |
|--------------------|---|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |

| 症状の名称 | 症 状 |
|---|---|
| 血液障害 | のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 腎障害 | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。 |
| うつ血性心不全 | 全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。 |
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 横紋筋融解症 | 手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。 |
| 無菌性髄膜炎 | 首筋のつばりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている) |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続または増強がみられた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師または薬剤師に相談してください。
口のかき、便秘、下痢
4. 1～2回服用しても症状がよくなりません(他の疾患の可能性も考えられる)は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師または薬剤師に相談してください。

[成分・分量]

1回量(1錠)中

| 成 分 | 分 量 |
|-----------------|--------------------|
| ロキソプロフェナトリウム水和物 | 68.1mg(無水物として60mg) |

添加物として、ケイ酸アルミン酸マグネシウム、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、硬化油、ステアリン酸マグネシウム、三乙酸化鉄、パレイシヨデンプン含有します。

(成分・分量に関連する注意)

錠剤表面に使用色素による赤い斑点がみられることがあります。

[効能・効果]

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

[用法・用量]

症状があらわれた時、次の1回量をなるべく空腹時をさせて水またはぬるま湯でかまずに服用してください。

| 年 齢 | 1 回 量 | 1 日 服 用 回 数 |
|-----------|-------|---|
| 成人(15歳以上) | 1 錠 | 2回まで ただし、再度症状があらわれた場合には3回目を服用できます。(服用間隔は4時間以上おいてください。) |
| 15歳未満 | | 服用しないでください。 |

(用法・用量に関連する注意)

(1)用法・用量を厳守してください。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押しつけて裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)

(PTPシートの取り出し図)



[保管および取扱い上の注意]

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

連絡先 ワキ製薬株式会社 お客様相談室

住 所 奈良県北葛城郡広陵町南郷898

電 話 0120-200-114

受付時間 午前9時から午後5時まで(土、日、祝日を除く)

製造販売元

WAKI ワキ製薬株式会社

〒635-0814 奈良県北葛城郡広陵町南郷898

URL: <http://www.a-kusuri.co.jp/>

※2016年3月改訂(下線部、第2版)